

令和2年度まちかどミーティング会議録

開催日 令和2年10月27日（火）

地区 豊川町地区

会場 豊川コミュニティセンター

〈意見交換〉

○司会 それでは、続いて、意見交換の時間に移りたいと思います。

これからの時間は、町内会からの要望事項やテーマプレゼンテーションの内容のほか、地域の課題などに対する意見交換を中心に、遅くとも8時には終了するように進めてまいります。お時間に限りがございますので、お一人につき1件ずつ、3分以内で簡潔にご発言いただきますようお願いいたします。

なお、町内会全体に関わらないような個人的な要望や苦情などにつきましては、発言を制止し、まちかどミーティング終了後、個別にお話を伺わせていただきますので、あらかじめご了承ください。

また、今年のまちかどミーティングにつきましては、全体の参加人数を制限するため、後ろ側をご覧のとおり、市側の出席者につきましても例年よりかなり少なくなっております。そのため、ご意見の内容によりましては、本日この場での回答が難しいものもあるかと思われませんが、その場合には担当部署に引き継ぎ、後日改めての対応となりますことをご了承ください。

なお、発言する際ですが、最初に町内会名とお名前を述べてからご発言願います。

事前要望に関する意見の場合には、併せて何番目の要望に関するものなのかについてもお知らせください。

最後に、繰り返しのお願いとなりますが、ご発言はお一人につき1件ずつ、3分以内でお願いいたします。

それでは、ご意見のある方は、マイクをお持ちいたしますので、挙手をお願いいたします。

どうぞ。

◆市民 豊川町内会の■■■■といます。今053大作戦で、マッチ君が、市役所の部長さんが活躍してましたが、我が町内会にも元市の職員で、木もれびの道をずっとごみ拾ったり、枝を拾ったりしてくれてる人がおります。それで私も今日ちょっと巡ってきたんですが、ごみはそれぞれ持っ持っているんですが、小枝等が7か所でしたが、道路側に集めてありますので、それを回収していただけないかということがございます。

○司会 木もれびの道を掃除してくださっている方がいらっしゃるということで、小枝を7か所に置いてあるそうなんですが、回答のほうお願いいたします。

◎都市建設部長 都市建設部長の栗野と申します。いつもお世話になっております。

木もれびの道ですね、小枝を拾っていただいたということで、大変ありがたく思っております。ありがとうございます。場所をちょっと後でご確認をさせていただきたいと思っておりますので、明日

にでも収集に上がりたいなというふうに考えてございますので。

◆市民 ありがとうございます。

◎都市建設部長 ご協力、本当にありがとうございます。

○司会 それでは、ほかにございませんか。まだお時間、始まったばかりで、どうぞ。

◆市民 桜木町内会の[REDACTED]です。よろしくお願いいたします。

お願いといいますのは、JR室蘭本線の南側、青葉町から白金町を經由いたしまして駅前に入る市道なんですけれども、この市道に国鉄の線路が1本、王子の構内に入ってるんですね。これだ、この線路が3年前ぐらいからもう閉止されて、軌道上、線路上に枕木3本を置きまして、それを番線で結わえて、列車が入らない状態にしてるんですね。しかしながら、左右四方に一旦停止、踏切注意という看板が出ているんです。それで、日本人というのは、皆さん真面目ですから、一旦停止されてるんですね、列車は入ってこないのに停止してる、朝晩の通勤のときにはかなり渋滞してる。また、昨年あたりは、雪がさらっと降ったときは、次の踏切のところまで渋滞するというような状況なんですけれども。

これをどうしても一旦停止しないとならないのかということ、駅前の交番に先日行ってきました。そうしますと、やはり規則上、止まってもらわないと摘発の対象になりますということなんです。何のために一旦停止して、安全の確認をしないといけないのだと、何を確認するんだという質問をしたんですけども、ここで何とも言えないので、本部のほうの企画課に行ってくださいということで、企画課に行きました。そうしましたら、係官が2人出ましてですね、分厚い六法か何かを持ってきて、このようにして、私どもは法に従って仕事をしているので、休んでいてもこれは仕方ないんだと、摘発になりますということで、あの一旦停止、注意という看板を外してもらおうか何か対策はないのですかということを質問いたしましたら、警察署としては、ちょっと難しいので、市のほうに行ってくださいということになりまして、道路維持課に行っていました。

それで、道路維持課さんのほうでどういような対処をしてくれたのか、その答えをお願いしたいと思います。

○司会 市からの回答、お願いします。

◎市民生活課長 市民生活課の野水と申します。市のほうの交通安全対策担当させていただいておりますので、その立場からで、ちょっとご説明をさせていただきます。

今お話しいただいたとおり、踏切につきましては、あのような状態であっても、踏切としての形態が保たれているという状況の中で一時停止をしなければいけないと。ここは警察さん、公安委員会のほうで決定をされておりますので、そこは、ぜひご理解をいただきたい。

ただ、踏切、王子の正門の東北門のところだと思うんですけども、王子製紙さんのほう、主に利用されているのが王子物流さんで、そちらのほうにちょっと確認をいたしましたところ、ちょっと前のお話なんですけれども、以前は使用してたんですけども、王子の構内で、線路を使う部分も含めて構内で工事をしている関係で、まず線路については閉鎖をしました。ただ、そ

の後、やはりあの線路につきましては、構内からの王子の製品をJR貨物で駅まで運搬をすると、そういう使命を担っている踏切、線路であるという中で、現時点では、すぐに再開という予定はないんですけれども、将来的には王子製紙さんとして、そのような形で線路を活用する計画は持っていないという状況なものですから、今は安全のために閉鎖をさせていただいておりますが、線路、踏切としては維持をしていきたいと。

それで、踏切については、管理が王子製紙さん、そこに敷設されております線路については、JR北海道さんという形で管理をしていただくことになっておりますので、私どもとしましては、やはり企業さんがそのような形で使用を予定をしているという状況であれば、そこを注視していくしかないかなと考えておりますので、今の時点では、そういうことでご理解をいただければと思います。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 今閉止されている道でも、あの看板を一時的に取り外してもらおうとか、大勢の市民が一企業のために犠牲を払うというのはどういうことかなと思うんですけれども。

◎市民生活課長 そこについては申し訳ございません、議論できる部分ではない。あくまでも、利用している、していないでなく、まだ踏切として、あそこは残っている形になっております。そうしますと、道路交通法の中では、踏切については安全確認ということで、一時停止をして確認をした後、通行していただくという形がございますので、ここについては警察さん、市に相談してほしいというお話でしたけれども、そういう中で、私たちとできる部分は、企業さんが所有する踏切、どのような扱いになさるのかというところで、企業さんがそこは維持をしていく、利用を予定しているんだというお話ですので、今の段階では、法にのった形でご協力をいただく以外にないかなと考えております。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 納得はできないんですけれども。市道ですから。

◎市民生活課長 市道、道道、国道関係なく、そういう法的な対応につきましては、全て公安委員会さん、警察さんの所管になるものですから、私どものほうで不便だなど思っても、やはり交通安全上の中でのルールでございますので、そこについてはご理解いただければと思います。

○司会 大変申し訳ございませんが、ご理解ください。

ほかにいらっしゃいませんか。皆さん、よろしいでしょうか。

◆市民 この、ちょっと資料は作ってきたんですけど、3分……。

○司会 すみません、今マイクをお持ちしますので、はい。

◆市民 ああ、ごめんなさい。すみません。いや、ちょっとね。

すみません。有珠の沢町の■■■■と申します。いつもハクチョウのことを話させてもらっている者なんですけど、今日は何か3分しか話ができないということなので、大体10分ぐらいだと思ってたのでね、そういう資料を作ってきたんですけど、3分でどうやって話したらいいかなと思っていましたよ。ちょっとこれ読めるとこまで読んでみていいですか、どうですか。誰かほかにもしあるんだったら後に回っていいですけども。

○司会 ちょっとお待ちくださいね。

◆市民 はい。

○司会 ほかに何かご意見のある方いらっしゃいますか。

そうしましたら、■■■■さん、なるべく短めにお願いします。

◆市民 そうですね、なるべくそうします。いいですか。

○司会 はい。

◆市民 まず、なぜハクチョウたちが針を飲むかというところから始めますね。水草に引っかかった針が、ハクチョウたちは水草を食べて生きていますけど、釣りをするときに水草に引っかかった針を要するに飲むんですよ。よく、釣り人はだらしがないからね、そんなことになるんだというけど、だらしがないということとは、ちょっと違うと思うんですよ。必ず引っかかるんです。引っかかったものは引っ張って切りますよね。切ったものは、結局、水草を食べて生きてるものたちが、針と一緒に飲むんですよ。

そういうことで、例えば川の中に針が置いたとしても、誰も川に入って取る人はいませんよということなんですよね。置かれたままで、苦小牧川はすごく汚れてるんですよ。全体がもう、何というの、藻のような、川の状態でないですよ、今頃はなおさらだね。そんなところで釣りをしてるのも何回か見てますし、そういうことで、針はたくさん入ってます。飲んだ針は、結局、ちょっともしかしたら体の外に出る可能性があるというんですけど、体の外に出ても、やっぱり苦小牧川しかないんですよ、あれら動けないから。そういうことで、針はどんどんどんどん増えてるはずですよ。

そういうことでいるんですけどね、ちょっとまた、その次に話したいことはね、口から釣針を出しているハクチョウ、また、口に3本針のルアーが入っている子、その時々、市役所にこういう状態にありますよということを見てもらってたんですよ。見てもらってたんですけど、そのときに、そうして、去年の5月にひなが産まれて、そのひなを見ようとしてたくさんの方が来るんですよ。そのとき、写真を見てもらって、苦小牧川のハクチョウはこういう状態で暮らしてますと言ったときに、テレビ、なかなか入らなくて、テレビに。で、どうしたんだろう。そのとき、去年、札幌で熊が出た話と、それから苦小牧の、何だったっけ、火災か、火災って放火だね、放火があったということで、そのときで、それがあって話せなかったのかなと思ってたんですけど、テレビには、5月14日にテレビのインタビューさせてもらったんですけど、なかなか出なくて、6月に入ってから、友達から、何人もの人から映っていたよと、よかったねという電話が来たんですけど、入ってたんなら市役所に言わなきゃならないと思って、生活課のほうに、こうしてテレビに映させてもらったよと言ったらね、生活課の人が、いや、ここにも確認来たよと、そういうことになっている確認は来たと言ったから、よかったなと思ったんだけど。

その後、私が見ることができなくて、スマホに入ってるということが分かって、何回か見たんですけど、大事な言葉が全部抜けてるんですよ。釣針を飲んで苦しんでるということを言いたかったんですけど、結局、針を飲んだことは認めてもらえてないんですよ。なぜかといったら、4か月の子が橋にぶつかって、激突して死んでいる子がいるんですよ。そのハクチョウだけは

調べてもらっているんです、実は、何本も飲んでる子を調べてほしいと言っても、うちはそういうことはしてないよって、苦小牧、そういうことしてないからということで、なかなか調べてはもらえないんですよ。して、そんなことで、たった4か月の子を調べてもらっただけで、針飲んでるということは確認してもらってないということなんです。それはすごく残念です。

それで、次に、いたずらがあるんです、すごくハクチョウたちにね。そして、いたずらがあるときは、うん、もうざわついて、何があったかすぐ分かるんですけど、かたっと音したらだあっとみんな逃げるといふか、そういう感じなんですけど、そのときに、いろんなハクチョウたちに今度、被害があつて、消えていくんです。羽がなく、飛べないハクチョウが消えていくんですよ、何羽も。そういうことで、結局、私は3日捜すんです。どこかにいるのかと思って捜すんですけど、捜してもどこにもいない。そんなときに、やっぱりいい気持ちしないですよ、私もね。警察にお願いするんです。こういう状態で、またいたずらがあつてね、こういう状態でハクチョウが消えてるんですよということであつたらね、警察の人が、何ていうっけ、あれ、パトロールをお願いしたいと言つたら、警察の人はね、そのぐらいやらせてもらいますよって言って、私は見てないんだけど、何人かの人、警察がやっぱり見てくれてるよという話を聞いてるんですけど、そういうことで、いたずらが絶えませんかということなの。

次に、令和元年、釣り、小さい針を、卵を抱く前に、卵を抱くということは、たくさん水草を食べないと卵ができないですよ。たくさん食べるから、小さい針2本飲んでるのは分かってるんです。それで何とか頑張れよと、頑張つて子供育てようねと、ハクチョウと私話すんですけど、そして10日ぐらいたつたときに、卵を抱いて、10日ほどたつたときに、今度、大きい針を飲んでるんですよ。食べれるかいと言つたら、ふうんと食べれないって言って、そうしたら、また後で来るねと言って、1日3回は通つてやるのね。そして、2日か3日でほんの少しの……。

○司会 ■■■さん、すみません、要は、ハクチョウが釣針を飲んで苦しんでいるというお話ですよ。

◆市民 そう、そういうことと、いたずらがすごく多いんですよ。それでね……。

○司会 いたずらとね、はい、よく分かりました。

◆市民 また後……。

○司会 はい、そうですね、個別にお話も聞かせていただきますので、はい。

◆市民 あ、そうですか、はい。ちょっと、私もまとめて……。

○司会 思いは伝わりました。ありがとうございます。

ほかにありませんか。

はい。

◆市民 豊川町内会、■■■です。先ほどのごみ処理に絡んでですね、我々、ちょうどもう10年ぐらい前からですか、豊川町のバイパス通りに、コスモス、植樹ます、約100か所あるんですが、そこにコスモスを植えて5人ほどで、今管理しております。ちょうど8月から9、10と今ちょうど花が終わって、今枯れてきているところです。そのままそこに置いておくと見てくれ悪いんですよ。何年か前にありました立ち枯れ、除草剤まいてバイパスの中央が枯れたのがありまし

たね、ああいう状況になって、見てくれ悪いから抜くことにしているんですよ、しばれる前に。

それで、私も今71になるんですが、私の軽トラで処分しとったんですが、ちょっと私、処分ができなくなってきたなど。集めますんで、抜いたやつを植樹ますに、それを市のほうで処理して、去年は言おうと思ったら、もう処分してくれたんです。処分していただけないかということでございます。

○司会 バイパス沿いに植えてありますコスモス、立ち枯れ状態になりますので、回収していただけないかということですが、市からの回答をお願いします。

◎ゼロごみ推進課長 お世話になっております。苫小牧市ゼロごみ推進課の倉持と申します。ご質問ありがとうございます。

今軽トラ1杯分のコスモスというふうにおっしゃっていましたが、ちょっと1点だけお聞きしたいんですが、その軽トラ1杯分のコスモスをどこかに置いている状態なのか、それとも、例えばボランティア袋というのがあると思うんですけども、そういったものに入れていただいているのか、そこだけちょっとお聞かせいただきたいんですが。

◆市民 それは、ごみ袋に入る量じゃありません。それで私、それは、ちょうど、錦岡に畑を借りてまして、そこに今までストックしておったんです。あふれるんですね。そして、元気のいいときはね、私の軽トラありますから、それで、どんどん運んでおったんですが、だんだん体と頭が動かなくなってきました。それでまとめておきますから、それを市のほうで回収というか、処理していただけないかということでございます。

◎ゼロごみ推進課長 やっぱり今の量と、それから場所等々ありますので、ちょっと後ほど、また詳しい話を聞かせていただいた上で対処させていただきたいと思っておりますので、すみません、よろしくをお願いします。

○司会 ほかにございませんか。

はい。

それでは、これで意見交換のほうを終了させていただきます。

最後に、本日のまちかどミーティングの終了に当たり、岩倉市長よりご挨拶させていただきます。

◎市長 ご質問あるいはご意見をいただきまして、ありがとうございました。状況が再確認したい場合は、終わった後ぜひ話していただきたいなというふうに思います。

新型コロナウイルスも、今苫小牧でも、全道的に今増えている状況であります。9月の4連休をきっかけに少し感染状況が増えてきたところではありますが、胆振管内の企業、あるいは市内の企業における感染状況は落ち着きつつありますので、ご安心をいただきたいなというふうに思います。

ただ、やはり熱を出す方が、やっぱり朝晩寒くなって多くなって、どうしてもかかりつけ医からPCR検査センターに検体が回る件数が今増えています。そういう中で、やはり陽性反応が出るケースも出てきますので、ぜひ、これも、だんだんだんだん新型コロナウイルスという病気の内容がどんどんどんどん分かってきて、軽症が多い、高齢の方で基礎疾患ある方はまだ心配しな

ければなりません。ほとんどの場合、軽症が多いということで、国のほうも陽性反応出たときのルールを少し今変えてきております。

苫小牧における病床については、全然心配のある状態ではありませんので、引き続き、感染防止対策に努めながら、日常を取り戻すというプロセスで、市民の皆さんに感染防止対策だけはしっかり求めながら、いろんなことをやっていきたいなというふうに考えておりますので、ご理解をいただきたいなと思います。

今日、医師会と記者発表しましたが、これからインフルとコロナが同時にというのがよくお茶の間でもテレビで流れると思います。そこで新たに、今までのPCR検査センターのほかに、発熱検査センターというのを11月2日から立ち上げることになりました。熱が出て心配だなと思ったら、ぜひ、病院、かかりつけ医でも地域の医療機関に行くと、コロナなのか、あるいはインフルなのか、両方調べたいという状況になるかと思っておりますので、そういう場合は、ぜひ日頃行ってるお医者さんに行けば、そこから、今度はその発熱検査センターのほうに検体が回していただければ、両方検査するということとなりますので、ぜひ活用してくださいったらおかしいですが、熱出さないのが一番なんですけれども、万が一発熱したり、体がだるかったりしたら、そういうところが、PCR検査センター以外にも新たに設置するということを今日発表させていただきましたので、ぜひこの冬、元気でお過ごしをいただきたいなというふうに思います。

改めて、最後までお付き合いをいただいた皆様方に心から御礼を申し上げまして、最後のご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。（拍手）

○司会 以上をもちまして、まちかどミーティングを閉会いたします。

どうぞご帰宅後には、手洗い、うがいを徹底していただきますようお願いいたします。

本日は誠にありがとうございました。